

### ◆平成29年1月～9月工事事故の状況◆

#### ◆平成29年1月～9月事故の特徴◆

☆事故発生件数は、「46件」(速報値)。

☆死亡事故は「1件」発生。

☆休業4日以上事故が、「10件」発生。過去5年で最大。

☆公衆災害は架空線・車両損傷事故、労働災害は取扱運搬事故が増加傾向。

#### ◆現場での安全な施工に向けて◆

⇒**気温の低下や天候の急変などに注意し、無事故で工事完成を!**

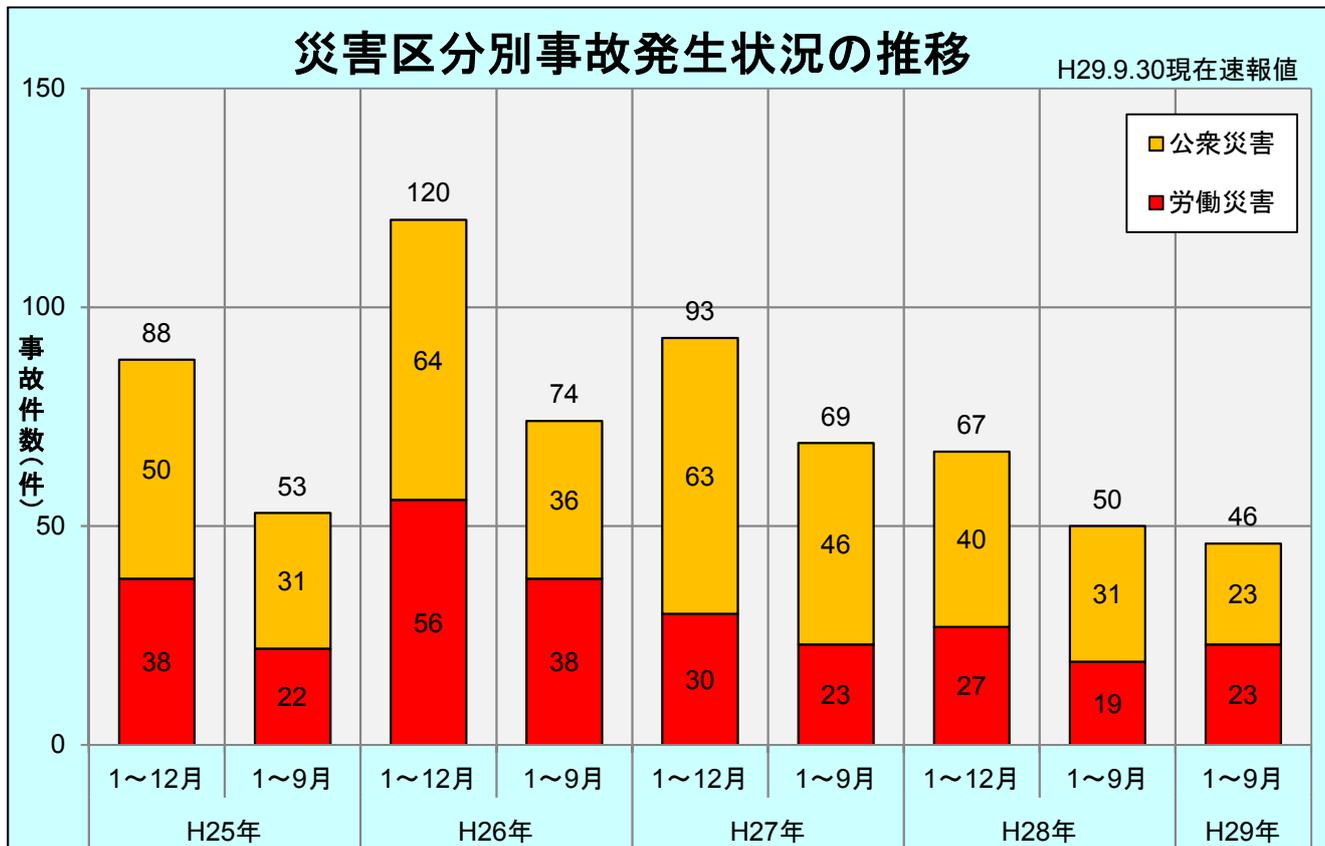
※使用している数値は速報値であるため、今後変更となる場合があります。

※北陸地方整備局発注の直轄工事を対象としています。

## 1. 工事事故の発生状況

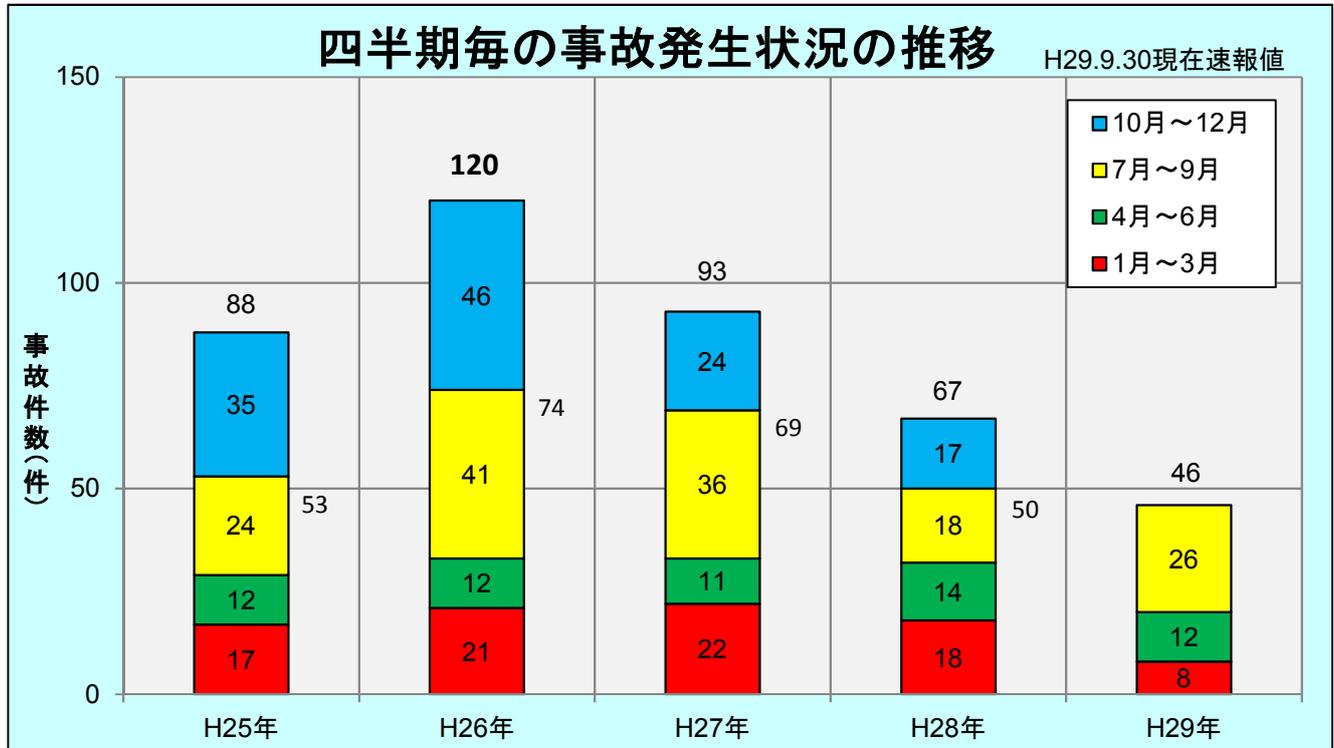
### 1) 各年の事故件数の推移

H29年9月までの工事事故件数は46件となっています。公衆災害は23件、労働災害は23件となっています。



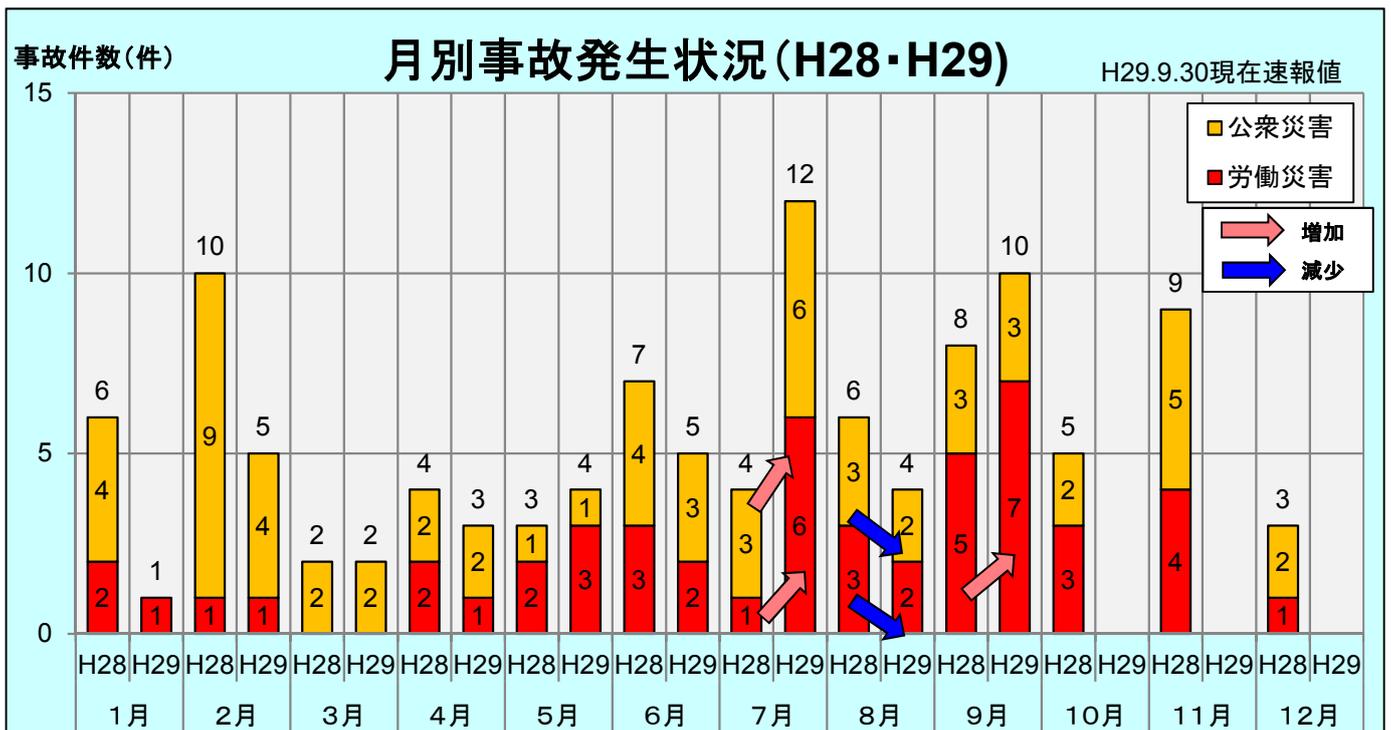
## 2) 四半期別の事故発生件数

四半期別事故発生件数を比較すると、H29年は1～6月の事故が過去5年で最少ですが、7～9月は26件と前年の同時期と比べ8件多く発生しています。



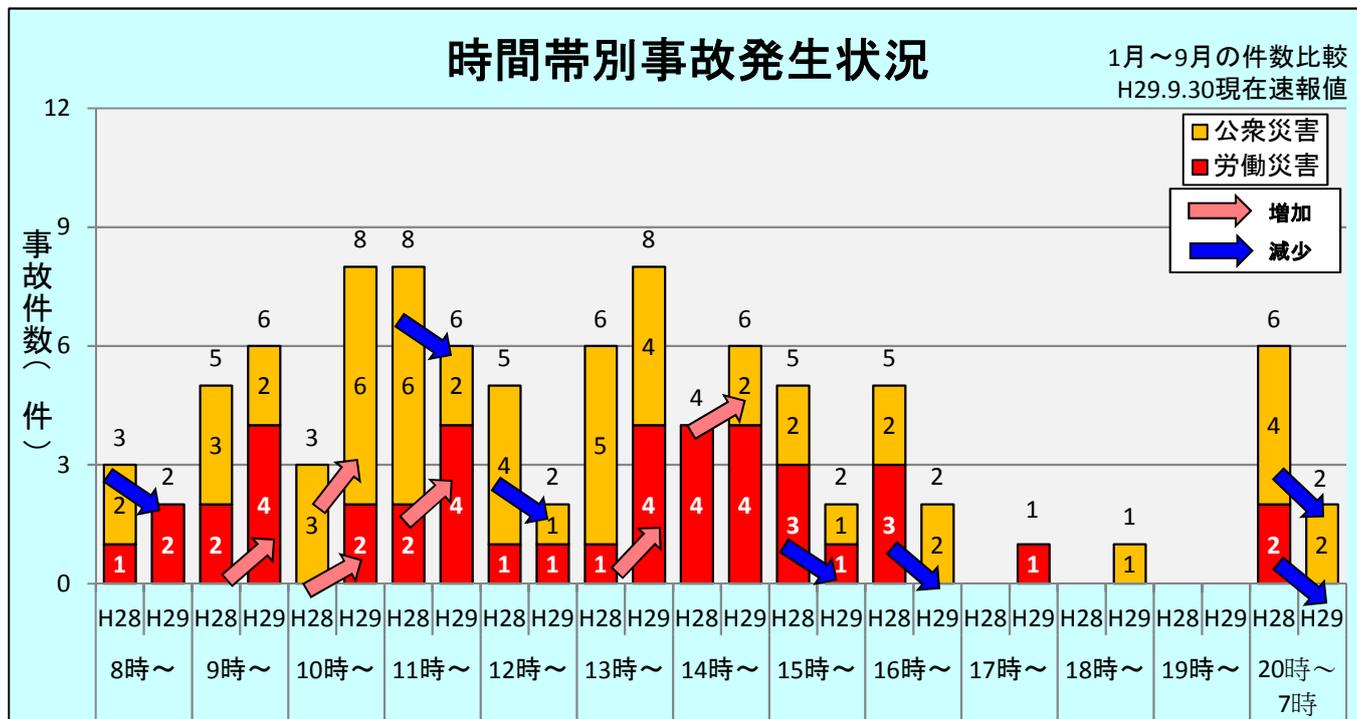
## 3) 月別の事故発生件数

H29とH28の月別事故発生件数を比較すると、7月、9月は事故の発生件数が大きく増加し、特に9月は労働災害が7件と多く発生しています。



#### 4) 時間帯別の事故発生件数

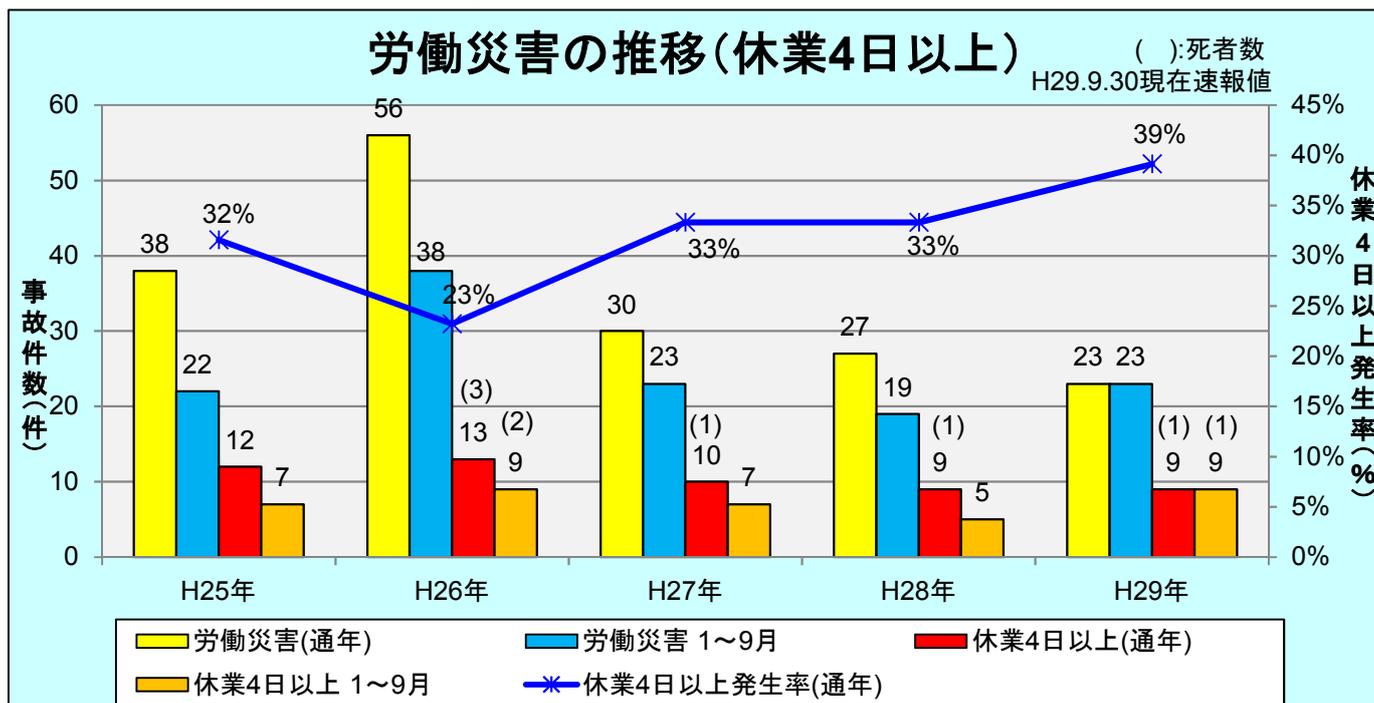
H29とH28の時間帯別事故発生件数を比較すると、労働災害は9～11時・13時台で増加し、公衆災害は10時・14時台で増加しています。



## 2. 労働災害の発生状況

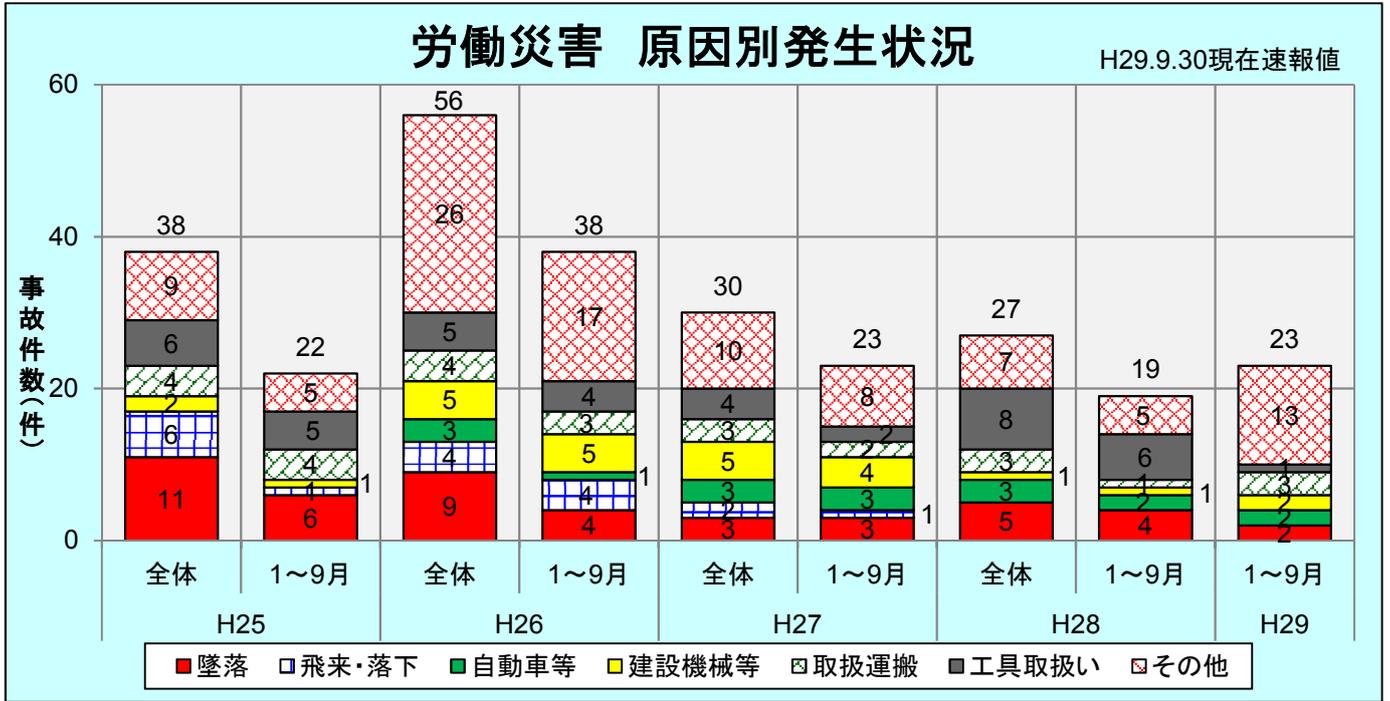
### 1) 休業4日以上 of 事故発生状況

H29年9月までの労働災害は23件発生し昨年より4件増加しています。休業4日以上 of 労働災害は9件発生し、昨年より4件増加しています。また、労働災害に占める休業4日以上 of 事故発生率は39%となっています。



## 2) 労働災害の原因別事故発生件数

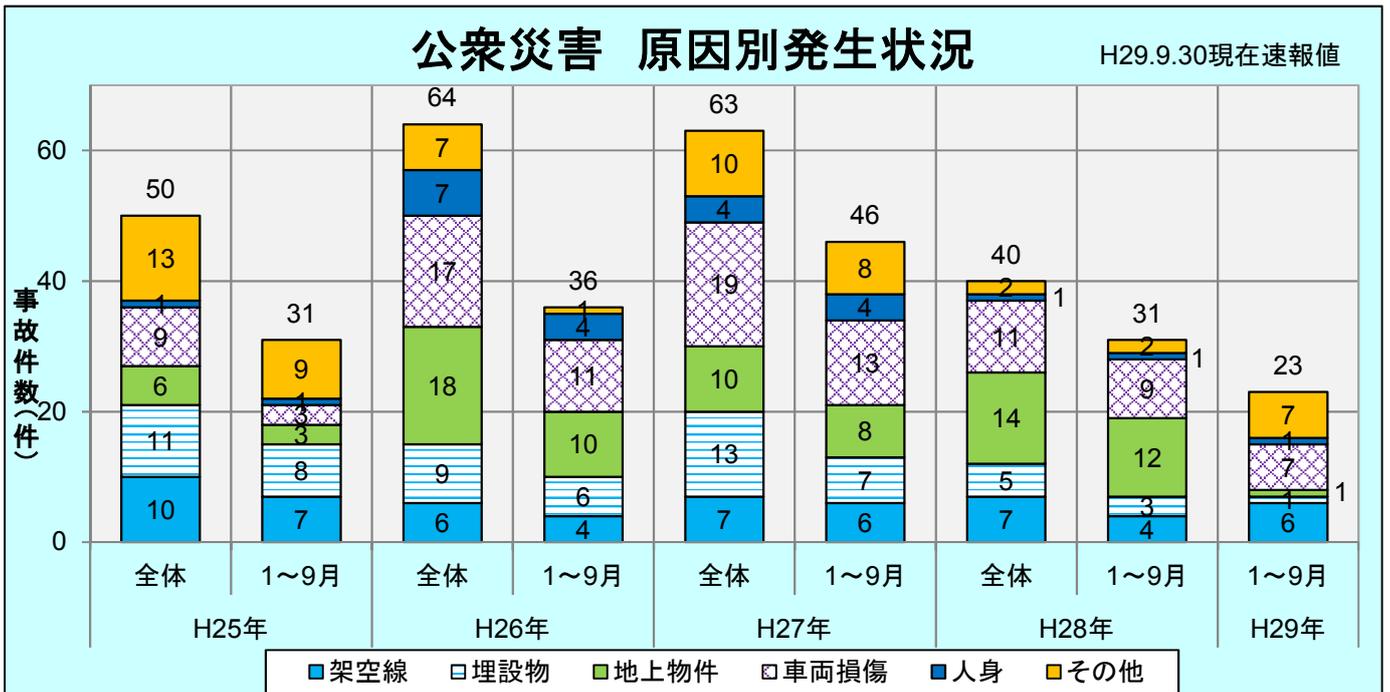
H29年9月迄の労働災害の事故発生原因では、建設機械等、取扱運搬が原因の事故が増加しています。



※自動車等: ダンプトラック、乗用車等による事故 建設機械等: クレーン、バックホウ等による事故 取扱運搬: 荷下ろし中などでの事故  
 工具取扱い: ブレーカー、ドリル等の作業工具による事故 その他: 倒壊、爆発、電気、その他による事故

## 3. 公衆災害の原因別発生状況

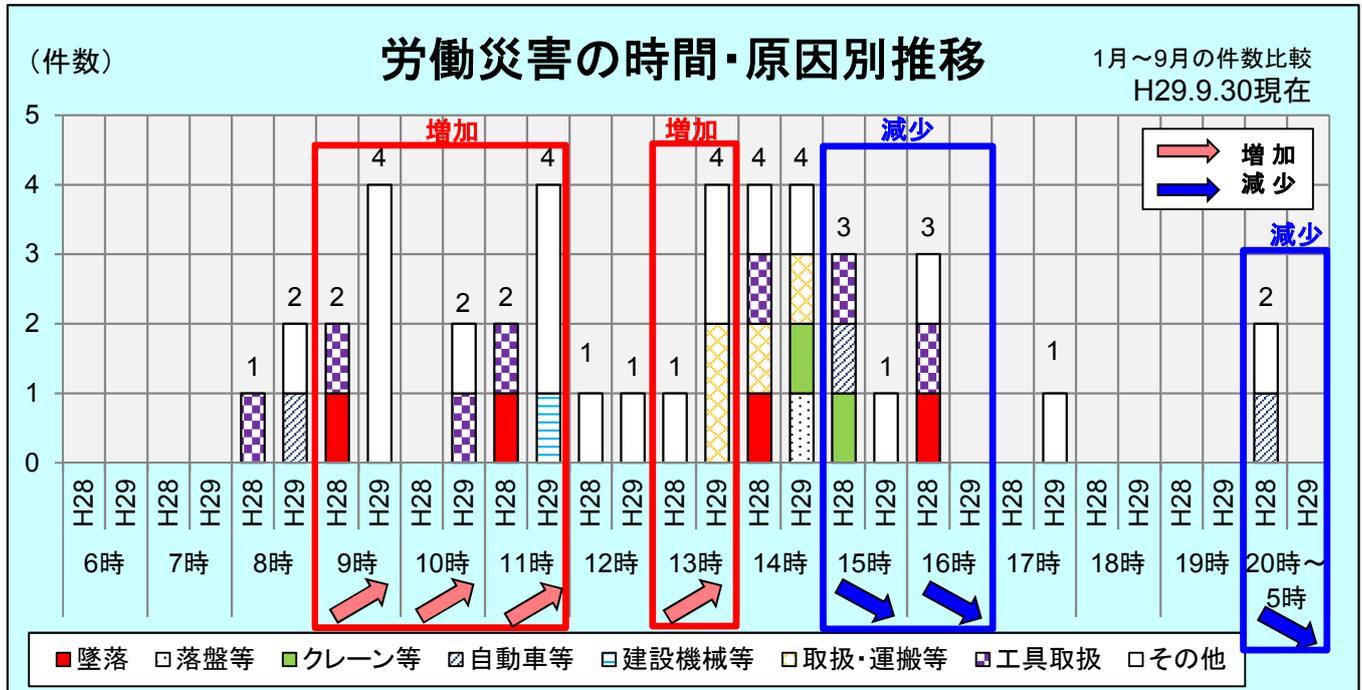
H29年9月迄の公衆災害の事故発生原因では、架空線、車両損傷が全体の約60%を占めています。



#### 4. 時間帯・原因別の詳細分析

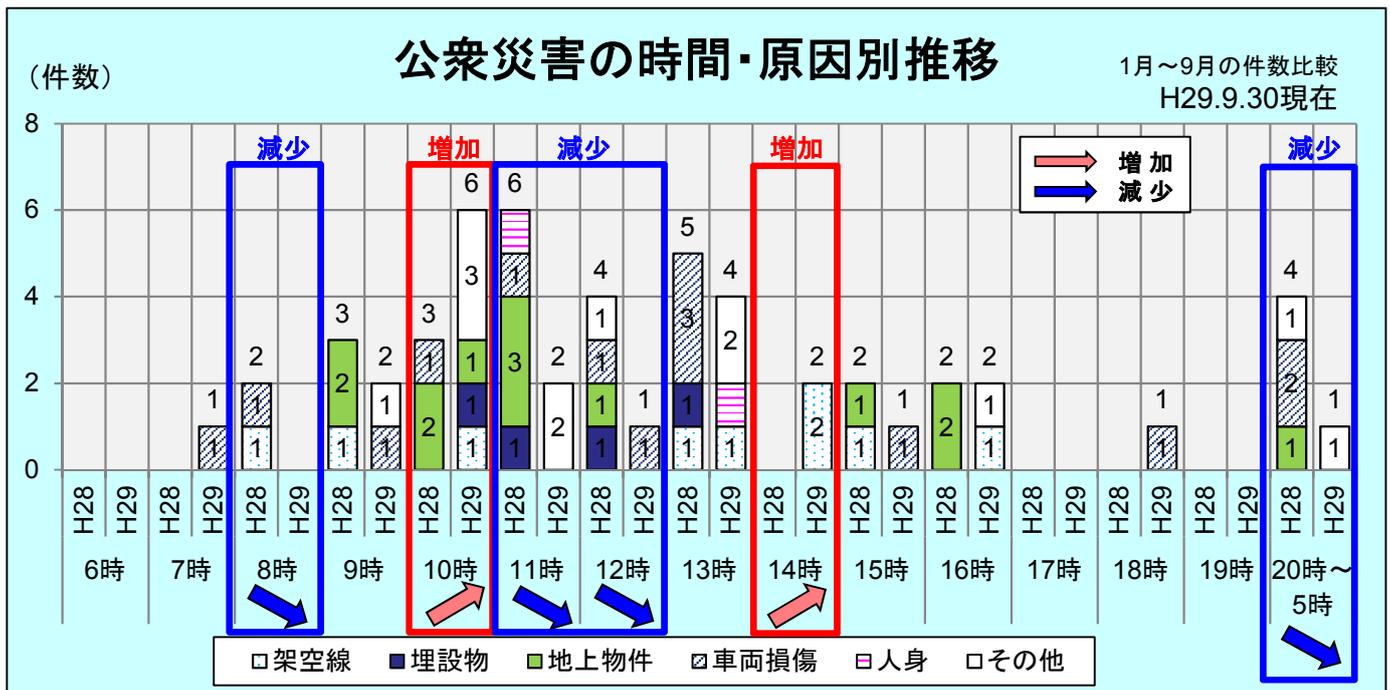
##### 1) 労働災害

H29とH28の時間帯・原因別を比較すると、増加した9～11時台、13時台は取扱・運搬等の事故が増加しています。また、減少した15～16時台、20～5時台は墜落、クレーン等、自動車等、工具取扱の事故が減少しています。



##### 2) 公衆災害

H29とH28の時間帯・原因別を比較すると、増加した10時・14時台は架空線、埋設物の事故が増加し、減少した11～12時台は埋設物、地上物件、人身事故、8時・20～5時台は架空線、地上物件、車両損傷事故が減少しています。



## 4. その他

### 建設工事事故データベース(SAS) への登録をお願いします。

地方整備局・都道府県・政令指定都市・機構等が発注する公共工事で発生した一定規模以上の事故の事故報告データの集合体です。収集されたデータは、建設工事事故対策検討委員会や発注者において、工事事故防止に向けた対策の検討・立案に利用しています。

・**休業4日以上**の建設工事事故について、受注者・発注者は必ずインターネットを利用して登録(入力)してください。

・「事故発生状況調書」は、技術管理課検査係で登録し、受注者への事故番号、パスワードを主任監督員へ通知します。



### ・登録対象となる事故

分類	事故の定義
労働災害	工事区域において工事関係作業が起因して、工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 資機材・工事製品輸送作業が起因して工事関係者が死亡あるいは負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
もらい事故	工事区域において当該関係者以外の第三者が起因して工事関係者が死亡又は負傷した事故。 なお、ここでいう負傷とは、 <u>休業4日以上</u> の負傷をいう。
負傷公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して当該工事関係者以外の第三者が死傷した事故。 なお、ここでいう第三者の負傷とは休業4日以上もしくはそれに相当する負傷をいう。
物損公衆災害	工事区域における工事関係作業及び輸送作業が起因して第三者の資産に損害を与えた事故にあつて、第三者の死傷に繋がる可能性の高かった事故。

※ 工事区域: 工事作業現場内及び隣接区域

### (参考)北陸地域の3ヶ月予報(H29.10.25新潟地方気象台)

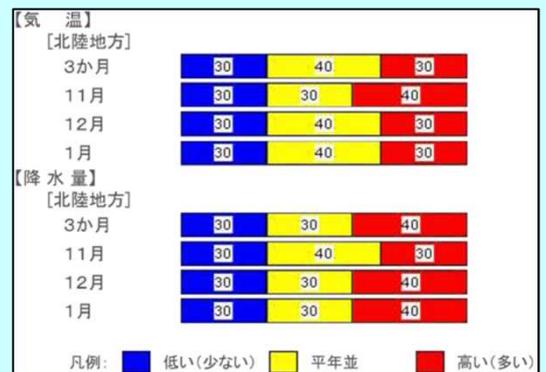
#### <予想される向こう3か月の天候>

向こう3か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

11月 平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

12月 平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。

1月 平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。



## 安全管理優良事例集を作成しました

今年度表彰を受けた17者の取組事例を北陸地方整備局ホームページ(<http://www.hrr.mlit.go.jp/gijyutu/ankenkanri.html>)に掲載しました。安全管理の参考にして下さい。

【問い合わせ先】 北陸地方整備局 企画部 技術検査官 神田

TEL 025-370-6702 FAX 025-280-8861